

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年4月6日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3770104200
法人名	医療法人社団 木村内科呼吸器科医院
事業所名	グループホームエーデルワイス
所在地	香川県高松市高松明神2160-1 (電話)087-841-2222

評価機関名	社会福祉法人香川県社会福祉協議会		
所在地	香川県高松市番町一丁目10番35号		
訪問調査日	平成21年2月10日	評価決定日	平成21年4月6日

## 【情報提供票より】(平成20年12月24日事業所記入)

### (1)組織概要

開設年月日	平成18年3月15日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	16人	常勤	10人 非常勤 6人 常勤換算 9.8人

### (2)建物概要

建物構造	鉄骨造り
	2階建ての2階部分

### (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	47,500~50,500円	その他の経費(月額)	実費	
敷金	(有)150,000円		無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( )円 (無)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	250円	昼食	500円
	夕食	400円	おやつ	100円
	または1日当たり			1,250円

### (4)利用者の概要(12月24日現在)

利用者人数	18名	男性	3名	女性	15名
要介護1	1名	要介護2	4名		
要介護3	7名	要介護4	3名		
要介護5	3名	要支援2	0名		
年齢	平均 88.6歳	最低	73歳	最高	98歳

### (5)協力医療機関

協力医療機関名	木村内科呼吸器科医院 渋谷歯科
---------	-----------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

「寄り添い 待つ介護」を理念に、懐かしい家庭の温もりを感じるグループホームである。職員は利用者の要望を聴き、共に行動し見守りながら一人ひとりの尊厳を大切に安全に暮らせる支援に努力している。また、かかりつけ医や職員は連携をとり体調管理に配慮しており、利用者の笑顔から安心した生活の様子がうかがえ家族からの信頼を築いている。開設して3年になり、管理者、職員はサービスの質向上や、地域の交流、記録類の改善など多岐にわたり取り組んでいる。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価の改善課題は、地域とのつきあい、職員を育てる取り組み、運営に関する家族などからの意見の反映などがあったが、内容によっては取り組んだ進捗状況はさまざまであるが、継続的に前向きな姿勢で改善や向上を目指している。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は、全員の職員が意見を出し取り組んだ。現在の状況を把握して課題は職員が共有している。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>2か月に1回の運営推進会議は、回を重ねるごとに内容が具体的になり参加メンバーの意見も出てきている。さらに参加メンバーの役割や立場での活発な意見交換の場になるような会議の持ち方を検討しているが、今後も運営の課題を提出したりサービス向上に活かせる会議を期待したい。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>面会時には、家族が意見や苦情、不安などを話しやすいように雰囲気づくりや環境に配慮している。また、意見箱を設置し投書できるようにして、運営に反映できる機会を設け対応している。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>夏祭りでは、多くの近隣の人たちの参加や青年会の協力が得られている。3月には幼稚園のひな祭り参加を予定しており、少しずつ地域との交流の輪が広がっている。利用者の行事参加には体力や意欲減退があるが、一人ひとりのペースや意向に沿えるようにしている。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
		○地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員全員で意見を出しあい事業所独自の理念をつくりあげたが、地域密着型サービスの理念の見直しまでには至っていない。	○	従来の理念に加え、事業所や職員が目指す地域密着型サービスとしての理念について再構築を期待したい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を共有するために、毎日の朝礼時に唱和し日々の実践に取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	夏祭りでは、多くの近隣の人たちの参加や青年会の協力が得られている。3月には幼稚園のひな祭り参加を予定しており、少しずつ地域との交流の輪が広がっている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員は、評価を実施する意義を理解し、改善に向けて現状の課題を認識しながら取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回の運営推進会議は、回を重ねるごとに内容が具体的に参加メンバーからの意見も出てきている。さらに参加メンバーの役割や立場での活発な意見交換や運営の課題を提出したりサービス向上に活かせる会議の持ち方を検討している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営上の不明な点は必要に応じてアドバイスを受けている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>担当者は利用者の暮らしぶりや体調などの様子を一筆箋に書いたり面会時に報告している。また、定期的に広報誌の発行をして情報の共有に努めている。</p>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時には、家族が意見や苦情、不安などを話しやすいように雰囲気づくりや環境に配慮している。また、意見箱を設置し投書できるようにし、運営に反映できる機会を設け対応している。</p>		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動はほとんどないが、新採用者があれば利用者の影響を最小限度に抑える配慮や体制をしている。</p>		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修は必要に応じて受講機会を設けている。また、内部研修などは研修委員会が定期的に計画・実施している。</p>	○	<p>経験に応じた段階的な研修計画や、研修の奨励をして職員の質向上と職員育成のさらなる取り組みに期待したい。</p>
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>事業所としての他部門との行事や勉強会の交流は実施している。しかし、地域の同業者との活動や交流には至っていない。</p>	○	<p>同業者と勉強会や見学会を開催し、お互いに交流してサービスの質を向上させる機会をつくる取り組みに期待したい。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者、家族と話合ったり、希望者には自宅訪問をして利用者の生活状況の把握をしている。家族の協力も得ながら安心して馴染めるように工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者の不安や楽しみ喜びなどを共感して理解できるように努めている。懐かしい歌を歌ったり学習療法をしたり利用者の趣味や得意なことを活かした活動の支援や、生活の知恵を教えてもらったりお互いに支えあう関係を築いている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の一人ひとりの会話の中から、思いや意向の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者、家族の意見を聞いたり、必要に応じて職員は話し合いを持ち、介護計画に活かしている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3か月ごとに見直しをしている。利用者の状態変化には、現状に即した新たな計画を作成している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院介助や買い物、外泊などの要望に応じて、柔軟な支援をしている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医とは良好な関係を築いており、利用者、家族の意向や要望を聞きながら体調管理をしている。緊急時は適切な医療が受けられるように支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期については、かかりつけ医や職員は、利用者や家族と話し合いを持ち、希望に沿えるように努力をしているが、事業所としての指針は整備されていない。	○	重度化や終末期のあり方について、事業所としての指針を共有できるように、今後のさらなる取り組みに期待したい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は日々の関わりの中で、利用者の尊厳を大切にしゆっくと優しい言葉かけや態度で接するように努めている。また、記録などの個人情報の取り扱いにも十分配慮している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の日課はあるが、利用者の生活ペースやリズムを大切にしながら、居室に閉じこもることなくその人らしく暮らせるように支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節のメニューを取り入れて月に一度利用者と一緒に夕食づくりをしている。	○	役割や楽しみごととして、おやつや食事などを作る機会を増やす取り組みに期待したい。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は週2回であるが、必要に応じて清拭などで対応している。入浴を楽しめるように、利用者の希望やタイミングに合わせた配慮をしている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	花を育てたり、洗濯物をたたんだり、家族に電話をしたり年賀状を書いたり、役割や楽しみごとなどを一人ひとりについて把握し支援できるようにしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者や事業所の状況で、日常的な外出支援には至っていない。	○	外出できる利用者には、希望にそった日常的な外出支援ができる体制づくりが望まれる。
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は安全面に配慮しながら、日中は鍵をかけないケアを実践している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災訓練を実施し緊急連絡網なども明示しているが、日ごろから地域の人々の参加や協力が得られるまでの働きかけには至っていない。	○	今年の訓練実施に向けて、運営推進会議や自治会などへ協力や参加をお願いする働きかけに期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の食事摂取量や水分量などを記録して、職員は一人ひとりの状態に応じた支援をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間は採光や換気も適切で、多くの時間を過ごす居間兼食堂は、季節の花やテレビ・ソファを配置し好みの場所で過ごせるよう配慮している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は飾りや表札を目印にして、家庭で使い慣れた家具や椅子などを使いやすく配置している。仏壇を持ち込んだり手作りの小物や利用者の写真入りカレンダーを飾り、好みに合わせた居室になっている。		